

本届出書に修了証のコピーを添付してください

(1)  防火 管理者選任 (解任) 届出書  
 防災

(2) 令和〇年 〇月 〇日

(3) 尼崎市 〇 消防署長 殿

(4) 管理権原者

住所 尼崎市〇〇町〇〇丁目〇番〇号

(法人の場合は、名称及び代表者氏名)

氏名 〇〇会社 代表取締役 消防 太郎

電話番号 06-1234-5678

(1)  防火  
下記のとおり、 防災 管理者を選任 (解任) したので届け出ます。  
記

防火対象物 建築物 又は その他の 工作物	所在地	(5) 尼崎市〇〇町〇丁目×番×号 ※防火管理を行う建物の所在地を記入 電話06 (1111) 2222					
	名称	(6) 〇〇ビル (1階 居酒屋〇〇)					
	管理権原	(7) <input checked="" type="checkbox"/> 単一権原 <input type="checkbox"/> 複数権原		複数権原の場合に管理権原に属する部分の名称	(8) 〇〇ショップ (1階)		
	用途※1	(9) 複合用途	令別表第1※1	(10) (16) 項イ	收容人員※1	(11) 200人	
	種別	(12) <input checked="" type="checkbox"/> 甲種 <input type="checkbox"/> 乙種					
	区分	名称			令別表第1	收容人員	
	令第2条を適用するもの※2	(13)			( ) 項	( ) 項	
令第3条第3項を適用するもの※2	(14)			( ) 項	( ) 項		
防火・防災管理者	選任	氏名 (フリガナ)	(15) 尼崎 一郎				
		住所	(16) 尼崎市〇〇町××丁目×番×号				
		選任年月日	(17) 防火管理者に選任される日を記入 〇〇年 〇〇月 〇〇日				
	資格	職務上の地位	(18) 店長 ※管理監督的立場である事				
		講習	種別	<input checked="" type="checkbox"/> 防火管理 ( <input checked="" type="checkbox"/> 甲種 ( <input checked="" type="checkbox"/> 新規講習 <input type="checkbox"/> 再講習) <input type="checkbox"/> 乙種)		<input type="checkbox"/> 防災管理 ( <input type="checkbox"/> 新規講習 <input type="checkbox"/> 再講習)	
			講習機関	(19) 尼崎市消防局			
			修了年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日		
解任	その他 (20)	<input type="checkbox"/> 令第3条第1項第 ( ) 号 ( )		<input type="checkbox"/> 令第47条第1項第 ( ) 号			
		<input type="checkbox"/> 規則第2条第 ( ) 号		<input type="checkbox"/> 規則第51条の5第 ( ) 号			
氏名	(21) 消防 花子						
解任年月日	(22) 防火管理者を解任される日を記入 〇〇年 〇〇月 〇〇日						
解任理由	(23) 人事異動のため						
その他必要事項	(24)						
受付欄※3	経過欄※3						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
2 □印のある欄については、該当の□印にレを付けること。  
3 ※1欄は、複数権原の場合にあっては管理権原に属する部分の情報を入力すること。  
4 ※2欄は、消防法施行令第2条を適用するものにあつては同一敷地内にある同令第1条の2の防火対象物ごとに、同令第3条第3項を適用するものにあつては管理権原に属する部分ごとに記入すること。欄が不足する場合は、任意で書類を作成し添付すること。  
5 消防法施行令第1条の2第3項第2号及び第3号の防火対象物にあつてはその他必要な事項の欄に工事が完了した際の防火対象物の規模を記入すること。  
6 消防法施行令第3条第2項又は同令第47条括弧書を適用するものにあつてはその他必要な事項の欄に管理的又は監督的地位にある者のいずれもが防火及び防災管理上必要な業務を適切に遂行することができない理由を記入すること。  
7 防火・防災管理者の資格を証する書面を添付すること。  
8 ※3欄は、記入しないこと。

防火管理者選任（解任）届出書の記入要領 ※正・副2部の提出が必要です。

項 目	記 入 要 領																							
(1) 届出区分	該当する項目を選びチェックします。 また、今回は選任だけで、解任がない場合→「解任」を消す。																							
(2) 年月日	消防署の窓口に提出する日を記入します。																							
(3) 宛 先	宛先は防火対象物を管轄する消防署長(中・東・西・北)宛てとなります。																							
(4) 届出者	届出者の住所、氏名を記入します。 届出者は、防火(防災)管理の最終責任者である管理権原者が該当します。 法人の場合は法人の所在地、名称及び代表者の職、氏名を記入します。																							
(5) 所在地	防火対象物の所在地を記入します。																							
(6) 名 称	1 防火対象物の名称を記入します。 2 テナントの場合は、テナント部分の階数及び名称を( )を付けて記入します。 (例)「〇〇ビル(1階 〇〇株式会社〇〇支店)」																							
(7) 管理権限	防火対象物について、管理権原が分かれていない場合は「単一権原」を、 管理権原が分かれている場合は、「複数権原」にレ点を入力します。																							
(8) 複数権限の場合 に管理権限に属する 部分の名称	1 複数権限の場合に管理権限に属する部分の名称を記入します。 2 テナント等の名称のあとに入居する階数を( )書きで記入します。 (例) 〇〇屋(1階)																							
(9) 用 途	1 防火対象物の用途を記入します。 2 テナントの場合は、テナント部分の用途を( )内に記入します。																							
(10) 令別表第1項区分	1 防火対象物の用途を消防法施行令別表第1に掲げる用途区分により、どの項に 該当するか記入します。 2 テナントの場合は、テナント部分の項区分を記入します。																							
(11) 収容人員	収容人員はその防火対象物が何名収容するかを記入します。 テナントとして建物の一部に入居される場合は、テナント部分の収容人員を記入しま す。 ※ 令別表第1の区分ごとに計算方法が決められており、実際の人数とは一致しな い場合もありますのでご注意ください。																							
(12) 種 別	防火対象物の種別で該当の口印に✓を付けます。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">甲種防火対象物</th> <th colspan="2">乙種防火対象物</th> </tr> <tr> <th>避難困難施設※1</th> <th>特定防火対象物※2 左記以外</th> <th>非特定防火 対象物※3</th> <th>特定防火 対象物</th> <th>非特定防火 対象物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物全体の 延べ面積</td> <td>すべて</td> <td>300㎡ 以上</td> <td>500㎡ 以上</td> <td>300㎡ 未満</td> <td>500㎡ 未満</td> </tr> <tr> <td>建物全体の 収容人員</td> <td>10人 以上</td> <td>30人 以上</td> <td>50人 以上</td> <td>30人 以上</td> <td>50人 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 避難困難施設火災発生時に自力で避難することが著しく困難な者が入所する 社会福祉施設等又はこれらが含まれる建物 ※2 特定防火対象物劇場・飲食店・店舗・ホテル・病院など不特定多数の人が出 入りする用途がある建物又はこれらが含まれる建物 ※3 非特定用途防火対象物 共同住宅・学校・工場・倉庫・事務所などの特定の人が出入りする用途の建物</p>	区分	甲種防火対象物			乙種防火対象物		避難困難施設※1	特定防火対象物※2 左記以外	非特定防火 対象物※3	特定防火 対象物	非特定防火 対象物	建物全体の 延べ面積	すべて	300㎡ 以上	500㎡ 以上	300㎡ 未満	500㎡ 未満	建物全体の 収容人員	10人 以上	30人 以上	50人 以上	30人 以上	50人 以上
区分	甲種防火対象物			乙種防火対象物																				
	避難困難施設※1	特定防火対象物※2 左記以外	非特定防火 対象物※3	特定防火 対象物	非特定防火 対象物																			
建物全体の 延べ面積	すべて	300㎡ 以上	500㎡ 以上	300㎡ 未満	500㎡ 未満																			
建物全体の 収容人員	10人 以上	30人 以上	50人 以上	30人 以上	50人 以上																			

(13) 消防法施行令第2条を適用するもの	<p>1 同一敷地内に2棟以上の防火対象物ある場合で、それら防火対象物の管理権原者が同一の場合は、その防火対象物の名称、用途、収容人員を記入します。 (例)「別館(会議室)10人」、「食堂5人」</p> <p>2 棟が多く、この欄に記入できない場合は別紙として添付してください。</p>
(14) 消防法施行令第3条第3項を適用するもの	<p>同一建物の管理権原が分かれており、防火管理をする範囲が比較的小規模(乙種)であれば記入します。適用の場合には、管理権原に属する部分ごとの名称、用途、収容人員を記入します。 (例)「3階 尼崎消防株式会社 事務所 15人」</p>
(15) 氏名・生年月日	選任する防火(防災)管理者の氏名、生年月日を記入します。
(16) 住所	選任する防火(防災)管理者の住民登録をしている住所を都道府県から記入します。
(17) 選任年月日	<p>防火(防災)管理者の選任年月日を記入します。</p> <p>防火(防災)管理者の選任日は防火管理者資格を取得した日以降にしてください。</p>
(18) 職務上の地位	<p>防火(防災)管理者の組織上の役職を記入します。</p> <p>(例) 総務部長、店長、所有者</p>
(19) 講習	<p>防火管理者及び防災管理者の講習資格を受けて資格を取得された方が防火(防災)管理者資格を記入します。種別で該当の口印に✓を付けます。</p> <p>種別は防火管理講習修了証をご確認ください。講習機関は、防火(防災)管理修了証に記載されている名称を記入します。</p> <p>(例)「尼崎市消防局」「一般財団法人日本防火・防災協会」</p> <p>※ 再講習終了者は、再講習終了証に記載している事項を記入します。</p>
(20) その他	<p>講習を受講せずに資格をお持ちの方(一級建築士や危険物保安監督者等)が情報を記入する欄です。防火管理者資格を令第3条第1項(防火管理講習修了者を除く)により有する方、防火管理者資格を規則第2条により有する方は、該当する号を記入し、( )にその概要を記入します。</p> <p>防災管理者資格を令第47条第1項(防災管理講習修了者を除く)により有する方又は防災管理者資格を規則第51条の5により有する方は、該当する号を記入し、( )にその概要を記入します。</p>
(21) 氏名	解任する防火(防災)管理者の氏名を記入します。
(22) 解任年月日	防火(防災)管理者の解任年月日を和暦で記入します。
(23) 解任理由	<p>防火(防災)管理者を解任する理由を記入します。</p> <p>(例) 退職、転勤</p>
(24) その他 必要な事項	<p>1 項目にない事項で特に必要な事項があれば記入します。</p> <p>2 防火(防災)管理業務を外部に委託する場合は、この欄に外部委託せざるを得ない理由を記入する必要があります。 (例) 外部委託の理由 所有者が遠方に居住のため</p> <p>3 防火管理資格を取得した方は、修了証の写しを添付します。</p> <p>4 再講習修了者は、再講習修了証の写しを添付します。</p>